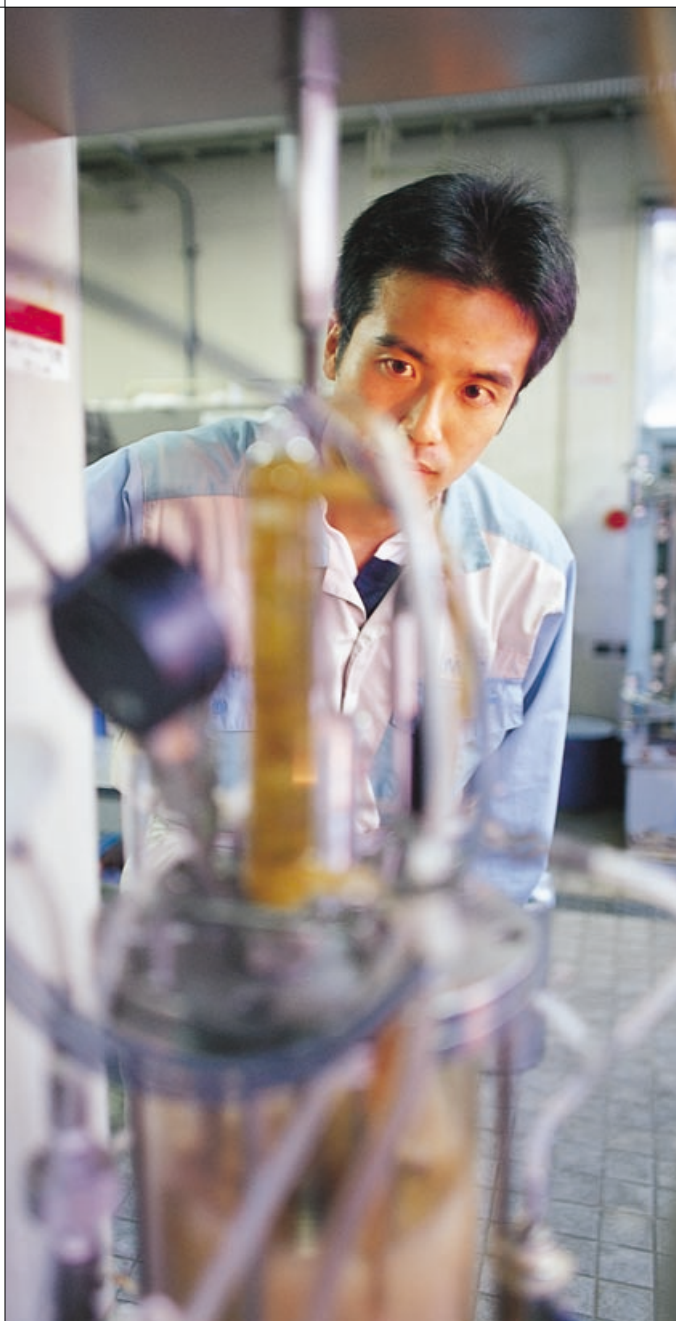




MGC TODAY

特色ある優良化学会社を目指して

第76期中間事業報告書

平成14年4月1日～平成14年9月30日



三菱ガス化学株式会社

主要経営指標の推移

FINANCIAL HIGHLIGHTS

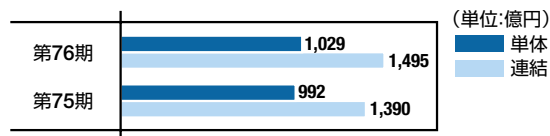
(単位:百万円)

	前年中間期 平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	当中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで
単体経営実績		
売上高	99,228	102,929
営業利益	△2,430	△1,246
経常利益	△1,601	△2,591
中間当期利益	△243	△1,831
連結経営実績		
売上高	139,092	149,592
営業利益	△3,839	△151
経常利益	△365	△972
中間当期純利益	1,096	△1,008

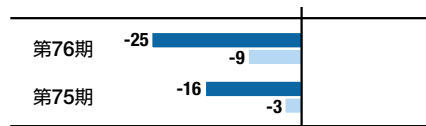
目 次

株主の皆様へ	1
部門別営業概況	2
中間貸借対照表	4
中間損益計算書	5
連結子会社	5
中間連結貸借対照表	6
中間連結損益計算書	7
中間連結剰余金計算書	7
中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
会社概要／役員	8
株式の概要	9

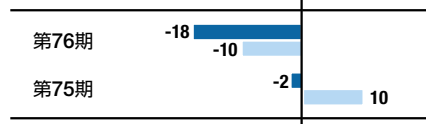
中間売上高



中間経常利益



中間当期利益



平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第76期上半期(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)の中間事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当上半期のわが国経済は、期初において米国やアジア向けの輸出の拡大により若干の回復の兆しが見えましたが、米国経済の減速や不良債権処理問題からくる金融不安などの要因により、民間設備投資や個人消費の回復を見ることなく低調に推移しました。

化学業界におきましては、石油化学製品の輸出が比較的好調であったものの、全体としてはナフサ・原油価格の高止まりやIT関連産業における需要回復の遅れ、更には安価な輸入品の攻勢もあり、厳しい経営環境が続きました。

当社ではこのような状況のもと、今期が中期経営計画「MGC進化21」の最終年度であることを踏まえ、競争優位事業の強化・拡大、提携・合併も含めた競争力強化策を推進するとともに、引き続き固定費の削減等の諸施策を通して収益改善に努めてまいりました。しかしながら、売上高は前年同期比37億0千万円増の1,029億2千万円となったものの、経常損益は前年同期比9億8千万円減の25億9千万円の損失、中間損益は前年同期比15億8千万円減の18億3千万円の損失となりました。

株主の皆様への中間配当金につきましては、上記業績ならびに先行き不透明な経済環境を勘案し、誠に遺憾ながら見送らせていただくことといたしました。皆様には諸事情で賢察のうえ、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

今後の経済情勢につきましては、不良債権処理の加速による経済への影響、不安定な国際政治情勢、米国経済の再減速懸念などにより、先行きの不透明感がますます強くなっております。

以上のような状況認識に基づき、当社といたしましては中期経営計画「MGC進化21」の基本方針に沿った諸施策を更に積極的に進め、業績改善ならびに安定的な収益基盤の確立に向けて更なる努力をしまいる所存です。

株主の皆様には、何卒倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長

小高 英紀

化学品部門

化学品部門の当上半期の売上高は、前年同期比13億1千万円増の667億0千万円となりました。

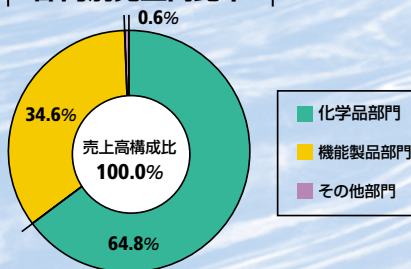
メタノール・アンモニア系製品群では、メタノールは国内販売、輸出ともに販売数量を伸ばしましたが、国際市況の回復が夏場まで遅れたため、売上高は減少しました。ホルマリンは、国内需要が減少する中で販売数量を維持しましたが、売上高は減少しました。アンモニア・尿素は事業の合理化に伴い販売数量が減少し、売上高は減少しました。アミン系製品は、中国向け輸出等が伸長したものの、海外メーカーとの競合により販売価格が下落し、売上高は若干減少しました。メタクリル酸系製品は、アクリル板用途やアクリル系塗料用途の需要が堅調で販売数量、売上高ともに増加しました。多価アルコール類は、新規用途向けの販売とアジアへの輸出が好調で売上高は増加しました。

キシレン系製品群では、メタキシレンおよびその誘導品ともに堅調に推移し、特にMXナイロンはボトル用途の海

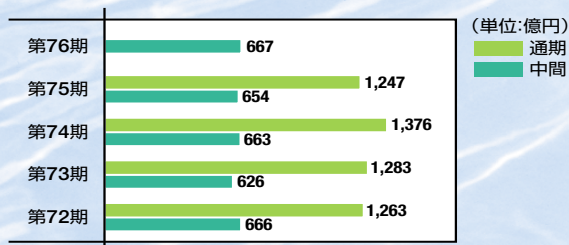
外需要が旺盛で販売数量、売上高ともに大きく増加しました。その他の特殊芳香族製品も、米国や欧州の需要家の在庫調整が一巡したことから、売上高は増加しました。パラキシレンの売上高は減少しましたが、その誘導品である高純度テレフタル酸は、市況の上昇と中国向け輸出の好調により、売上高は大幅に増加しました。無水フタル酸は、国内需要の不振を輸出が補い、販売数量は増加しましたが、主用途である可塑剤向けの価格が下落したため、売上高は減少しました。

工業薬品類では、過酸化水素は紙・パルプの漂白向け需要が堅調で売上高は増加しました。ハイドロサルファイトは国内需要が低迷し、販売数量、売上高ともに減少しました。過硫酸塩類はIT関連分野の需要は低迷しましたが、樹脂用途の販売が堅調で売上高は横這いで推移しました。水加ヒドラジンは発泡剤用途、農医薬用途等の需要が低迷し売上高は減少しました。

部門別売上高比率



化学品部門売上高



機能製品部門

機能製品部門は、前期から続くIT関連需要の低迷により依然として厳しい事業環境にありましたが、一部製品に対する需要の回復がみられ、当上半期の売上高は、前年同期比25億7千万円増の356億1千万円になりました。

エンジニアリングプラスチックは、世界的な生産能力の増加を背景にした販売競争の激化から販売価格が下落しましたが、自動車向け需要の堅調と電気・電子向け需要の緩やかな回復を受けて販売数量が増加したため、売上高は増加しました。

プリント配線板用材料は、通信基幹設備向けの需要は依然として低迷しているものの、半導体パッケージ向け需要の回復がみられ、売上高は増加しました。

電子工業用薬品類は、主な需要先である半導体および

液晶メーカー等の設備稼働率が改善されたことから販売数量は増加しましたが、販売価格が下落し、売上高は若干の増加にとどまりました。

情報機能材料では北米を中心とした通信事業者の投資抑制の影響を受けて、磁性ガーネット単結晶は低調に推移しました。なお、当上半期から光波長多重伝送装置(WDM)の販売を開始いたしました。

レンズモノマーは、高性能メガネレンズ市場が低迷し、販売数量、売上高ともに減少しました。

食品の鮮度保持等に使用される脱酸素剤「エージレス®」は、食に対する安全意識の高まりを背景に需要が伸び、売上高は増加しました。

その他部門

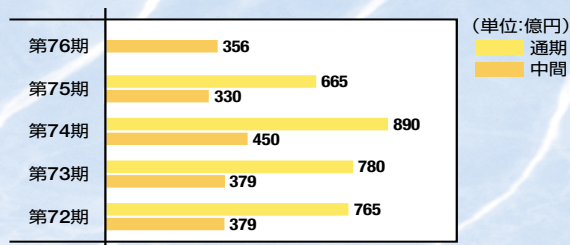
その他部門の当上半期の売上高は、前年同期比1億9千万円減の6億0千万円となりました。

技術販売は、IT関連産業の設備投資が低調であったこ

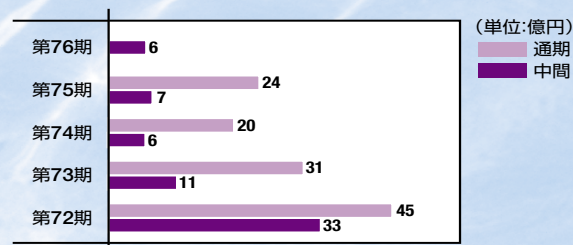
とからメタノール法水素ガス製造技術等の販売件数が減少し、売上高は減少しました。

地熱事業の蒸気販売は横這いで推移しました。

機能製品部門売上高



その他部門売上高



中間貸借対照表

INTERIM BALANCE SHEET

(平成14年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	113,692	流動負債	115,008
現金・預金	6,829	支払手形	1,426
受取手形	4,293	買掛金	29,738
売掛金	52,228	短期借入金	46,942
有価証券	5,000	一年内償還社債	20,000
たな卸資産	33,416	その他	16,901
その他	11,924	固定負債	70,848
		社債	20,000
		長期借入金	43,559
固定資産	195,532	退職給付引当金	6,424
有形固定資産	119,009	その他	864
建物・構築物	37,249	負債合計	185,857
機械装置	53,985	(資本の部)	
土地	16,272	資本金	41,970
その他	11,501	資本剰余金	35,518
無形固定資産	1,186	利益剰余金	46,973
投資等	75,337	(うち中間利益)	(△1,831)
投資有価証券	53,082	株式等評価差額金	1,554
子会社株式・出資金	13,840	自己株式	△2,649
その他	8,413	資本合計	123,368
資産合計	309,225	負債・資本合計	309,225

(平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
売上高	102,929
売上原価	89,623
販売費及び一般管理費	14,552
営業利益	△1,246
営業外収益	1,861
営業外費用	3,206
経常利益	△2,591
特別利益	392
特別損失	1,305
税引前中間利益	△3,504
法人税、住民税及び事業税	191
法人税等調整額	△1,864
中間利益	△1,831
前期繰越利益	2,920
中間未処分利益	1,089

化学品

日本ヒドラジン工業(株)
 永和化成工業(株)
 エーアンドシー(株)
 菱江化学(株)
 菱陽商事(株)
 ミツビシガスケミカルシンガポールPTE,LTD.
 ミツビシガスケミカルアメリカ,INC.
 P.T.ペロクシダ インドネシア プラタマ
 共同過酸化水素(株)
 フドー(株)
 東名化学(株)

機能製品

日本サーキット工業(株)
 エレクトロテクノ(株)
 (株)ダイヤテック
 三永純化(株)
 エムジーシーピュアケミカルズアメリカ,INC.
 タイボリアセタールCO.,LTD.
 東洋化学(株)
 富士化成(株)
 (株)東京商会
 フォトクリスタル(株)
 米沢ダイヤエレクトロニクス(株)

その他

日本バイオニクス(株)
 木江ターミナル(株)
 海洋運輸(株)
 ジャパンケミカルトランスポート(株)
 菱和エンタープライズ(株)
 菱和興産(株)
 国華産業(株)

中間連結貸借対照表

CONSOLIDATED INTERIM BALANCE SHEET

(平成14年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	175,531	流動負債	188,074
現金・預金	23,348	支払手形・買掛金	58,430
受取手形・売掛金	81,474	短期借入金	86,279
有価証券	8,174	一年内償還社債	21,000
たな卸資産	50,498	その他	22,364
その他	12,035	固定負債	101,356
		社債	20,000
		長期借入金	69,105
		退職給付引当金	10,596
		その他	1,654
固定資産	287,551	負債合計	289,431
有形固定資産	177,563	(少数株主持分)	6,791
建物・構築物	53,073	(資本の部)	
機械装置・運搬具	79,482	資本金	41,970
土地	25,548	資本剰余金	35,518
その他	19,458	利益剰余金	94,565
無形固定資産	1,838	土地再評価差額金	185
投資等	108,148	その他有価証券評価差額金	1,587
投資有価証券	92,095	為替換算調整勘定	△4,318
その他	16,053	自己株式	△2,649
資産合計	463,082	資本合計	166,860
		負債・少数株主持分及び資本合計	463,082

中間連結損益計算書

CONSOLIDATED INTERIM
STATEMENT OF OPERATIONS

(平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
売上高	149,592
売上原価	127,413
販売費及び一般管理費	22,331
営業利益	△151
営業外収益	3,102
営業外費用	3,923
経常利益	△972
特別利益	269
特別損失	1,831
税金等調整前中間純利益	△2,535
法人税、住民税及び事業税	787
法人税等調整額	△2,143
少数株主利益または少数株主損失(△)	△170
中間純利益	△1,008

中間連結剰余金計算書

CONSOLIDATED INTERIM STATEMENT
OF RETAINED EARNINGS

(平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
資本剰余金期首残高	35,518
資本剰余金増減高	—
資本剰余金期末残高	35,518

(単位:百万円)

科 目	金 額
利益剰余金期首残高	96,234
利益剰余金増減高	△660
中間純利益	△1,008
利益剰余金期末残高	94,565

中間連結キャッシュ・フロー計算書

INTERIM STATEMENT OF
CASH FLOWS

(平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,933
財務活動によるキャッシュ・フロー	572
現金及び現金同等物に係わる換算差額	△856
現金及び現金同等物の増減額	△1,605
現金及び現金同等物の期首残高	28,188
連結追加による期首現金及び現金同等物増加高	1,629
現金及び現金同等物の期末残高	28,212

社 名

三菱ガス化学株式会社(登記社名:三菱瓦斯化学株式会社)
MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

コーポレートシンボル**本社所在地**

〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル

事業所

営業所:大阪支店、名古屋支店、福岡営業所

研究所:総合研究所、東京研究所、新潟研究所、
平塚研究所

工 場:東京工場、新潟工場、水島工場、四日市工場、
大阪工場、山北工場、鹿島工場

主要取引銀行

(株)東京三菱銀行 三菱信託銀行(株)
農林中央金庫 (株)みずほコーポレート銀行
(株)横浜銀行

取締役会長

大 平 晃

[代表取締役]

取締役社長

小 高 英 紀

[代表取締役]

専務取締役

東 郷 静 雄

[代表取締役]

専務取締役

池 田 幸 男

[代表取締役]

常務取締役

中 村 博 海

常務取締役

渡 部 博

常務取締役

井 上 六 郎

常務取締役

五 島 歸 一

常務取締役

喜 嶋 安 彦

常務取締役

川 木 隆 雄

取 締 役

藤 森 正 也

取 締 役

上 松 正 次

取 締 役

酒 井 和 夫

取 締 役

川 崎 敏 雄

取 締 役

梅 村 俊 和

取 締 役

川 上 邦 彰

取 締 役

臼 田 邦 介

取 締 役

山 崎 慶 重

監 査 役

廣 山 忠 亮

[常勤]

監 査 役

伊 藤 秀 嗣

[常勤・社外]

監 査 役

尾 方 康 紀

[常勤]

監 査 役

田 口 弥

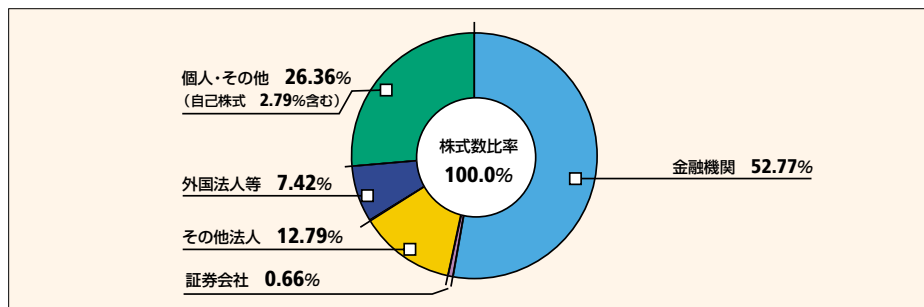
[非常勤・社外]

(平成14年9月30日現在)

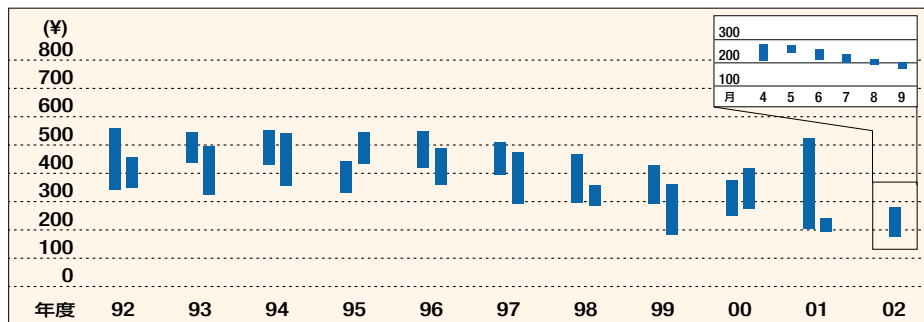
(平成14年9月30日現在)

上場証券取引所	東京・大阪・名古屋 各証券取引所第一部		
発行済株式総数	483,478,398株		
株主数	49,552名		
大株主	日本生命保険相互会社	31,135千株	6.4%
	三菱信託銀行株式会社	23,005千株	4.7%
	株式会社東京三菱銀行	21,777千株	4.5%
	明治生命保険相互会社	19,295千株	3.9%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,293千株	3.5%
	株式会社みずほコーポレート銀行	12,996千株	2.6%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,493千株	2.5%
	株式会社横浜銀行	12,340千株	2.5%
	農林中央金庫	10,053千株	2.0%
	旭硝子株式会社	9,671千株	2.0%

所有者別分布状況



株価チャート



株式についてのご案内

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
同総会権利行使株主確定日	3月31日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株券交付手数料	1枚につき200円(消費税・別)
1単元の株式数	1,000株
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
名義書換代理人	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同事務取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
電話お問合わせ	〒171-8508
郵便物送付先	東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (03) 5391-1900 (代表)

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っております。

単元未満株式の買取請求について

単元未満株式の売却をご希望の場合(買取請求)は、名義書換代理人にてお取扱いいたします。ただし、証券保管振替機構に株券を預託されている場合には、預託窓口の証券会社にお申し出ください。

MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

ホームページアドレス <http://www.mgc.co.jp/>